

子供の未来応援国民運動 ホームページ

子供の未来応援国民運動ホームページ - トップページ -

子供の未来応援
子供の未来応援プロジェクト

ホーム 政策紹介 支援情報の検索 団体と企業の交流 基金ページ 取組事例 キッズページ 応援メッセージ 法律・大綱

私が受けられる支援は？ >
基金へ寄付したい >
民間団体と企業の縁結び >

■子供の未来応援プロジェクト
明日の日本を文えていくのは今を生きる子供たち。その子供たちが自分の可能性を信じて前向きに挑戦し、未来を切り拓いていける社会にすることが必要です。しかし、生まれ育った環境によって、教育の機会が得られず将来の可能性が閉ざされてしまう子供たちや、健やかな成長を育むための衣食住が十分確保されていない子供たちがいます。
貧困の連鎖によって、子供たちの無数の可能性の芽を摘むようなことは決してあってはなりません。
このホームページでは、すべての子供たちがそれぞれの夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指して、様々な情報を提供していきます。

1. 現在、「支援情報検索」に登録されている支援情報は中央自治、都道府県及び政令市の範囲です。政令市以外の市区町村の支援情報については、平成28年4月に掲載される予定です。
2. 支援情報の検索は、[こちらのリンク](#)で行ってください。

新着情報 > 最新ニュース一覧 RSS

- 2016年03月02日 子供の貧困対策フォーラムin東京、追加募集いたします(外部サイト)
- 2016年02月26日 イトヨーカードー全店舗のレジで子供の未来応援基金への募金開始(平成28年3月～5月末まで)(外部サイト)
- 2016年02月19日 子供の未来応援国民運動のFacebookページを開設しました(外部サイト)
- 2016年02月02日 子供の未来応援国民運動にデック・ブルーナさんのイラストを採用～第1弾、ポスターを全国に約8万部展開～(外部サイト)
- 2016年01月18日 子供の貧困対策フォーラムの開催について(外部サイト)
- 2015年12月22日 子どもの貧困対策会議(第4回)において、「ひとり親家庭・多子世帯等自立支援プロジェクト」が決定されました。(外部サイト)

国民運動シンボルマーク

タブによるメニュー選択

支援情報ポータルサイト
基金ページ
マッチングサイト
を強調。アクセスを簡易化

スマートフォン・タブレット対応済



新着情報、注目すべき情報等は時系列にリスト化し、随時掲載



目的

支援を必要とする方に、必要な支援(情報)を届ける

- 国、都道府県、市町村等が行う子供の貧困対策(支援情報)を一元的に集約し、地域別、属性等別、支援の種類別に検索できる総合的な支援情報ポータルサイトを整備
- 当事者自身はパソコン等を有していない可能性もあり、主にその支援者が、当事者から相談を受けながら、必要な支援をコーディネートするための利用を想定
- 当事者へ配慮し、「進学したいけどお金がない」、「お腹が空いたけど食べ物を買うお金がない」等、当事者が有する具体的な悩みごとからも支援情報が検索可能
- 「ひとり親家庭の相談窓口」を登録することにより、支援を必要とするひとり親が行政の相談窓口確実につながるよう、分かりやすい情報提供や相談窓口への誘導の強化を行い、ワンストップで寄り添い型支援を行うことができる。

機能

- 中央省庁、都道府県及び政令市の施策を合わせて約2000施策を掲載(27年10月1日現在)
28年度当初には全市区町村の支援情報を掲載予定
- 支援の種類、悩みごとの種類(計60を設定)、フリーワード、施策の実施主体から検索が可能

目的

企業等による支援と、NPO等の支援ニーズをつなぐ

草の根で活動する支援団体の多くが、運営基盤がぜい弱であること等に鑑み、民間同士で連携し、助け合えるきっかけをつくるため、双方向で情報を提供、収集できるマッチングサイトを開設

機能

- NPO等団体と企業は、マッチングサイトに登録の上、それぞれ支援要請内容、支援提供内容を登録
なお、登録時には利用規約及び留意事項への同意が必要
- 支援の要請内容、支援の提供内容、評価の高いユーザー（団体、企業）をそれぞれランキング形式にて表示
- メール機能やソーシャルメディアとの連携など、より効率的にマッチングできる機能を整備

未来の子供のつなぐサイト

ホーム 団体案内 企業案内 活動案内 団体と企業の交流 支援情報センター 基本ページ キャンペーン お問い合わせ

ホーム / 団体と企業の交流

「子供の貧困」支援に向けた
団体と企業の交流サービス、始動!

ログイン
新規登録

支援活動を行う
団体を探す

支援活動をサポートする
企業を探す

現在の登録数 → 企業 5件 団体 25件 交流数 → 6件

団体からの支援要請
ランキング

企業からの支援提供
ランキング

評価の高いユーザー
ランキング

Pick Up! 登録ユーザの支援と提供イメージを写真でみる

支援の提供

支援の要請

目的

国民に対し、基金への理解と協力を求める

貧困の連鎖を断ち切ることは、社会にとって「将来への投資」につながるという理念等について、国民に対し、理解と協力を求め、提供リソースを基金として結集するための情報発信

機能

- 基金のコンセプトや基金により実施する事業の紹介
- ホームページからの寄付の方法は以下の3通り。
 - クレジットカードによる寄付(日本財団のサイトへリンク)
 - 銀行振り込みによる寄付(日本財団のサイトへリンクし領収書の発行が可能)
 - ドコモのポイントによる寄付(NTTドコモのサイトへリンク)
- その他、身近な金融機関からの直接振り込みも可能
- 寄付に対しては、寄付金控除や損金算入など、税制上の優遇措置が適用される

始動! 子供の未来応援基金

子供の貧困の課題は、子供達の将来が閉ざされてしまうだけでなく、社会的損失につながるの考えを前提に、子供の貧困対策を「慈善事業」にとどめず、「将来への投資」と位置づけ、寄付金をはじめとする企業や個人等からの提供リソースを基金として結集し、「未来応援ネットワーク(仮称)」事業、「子供の取組」事業等を実施します。

企業や個人からの提供リソース

社会福祉法人 企業 大学等 個人

国民運動推進事務局
子供の未来応援基金

寄付金は日本財団に寄付基金として管理し、基金による支援金の分配方法、活動基準は内閣府、文部科学省、厚生労働省及び日本財団により採択する国民運動推進事務局で決定します。また、従事機関に「基金審査委員会」を設置し、事業の透明性・公平性を確保します。

寄付の手続きをする。

- 1 クレジットカードで寄付をする。
クレジットカードによる寄付申し込みの方はこちら
(日本財団のサイトにリンクする)
- 2 銀行振り込みで寄付をする
銀行振り込みによる寄付申し込みの方はこちら
(日本財団のサイトにリンクする)
- 3 ドコモのポイントで寄付をする
ドコモのポイントによる寄付申し込みの方はこちら
(NTTドコモのサイトにリンクする)

政策紹介

貧困家庭を救う 4つの支援

今と未来をみつめた貧困対策

貧困の状況にある子供を支援する「子どもの貧困対策の推進に関する法律」及び様々な「子供の貧困対策」は、今だけを見つめるものであってはなりません。貧困の状況下で育った子供が大人になっても貧困の状況から抜け出せないほど、いわゆる貧困の連鎖によって子供たちの未来が閉ざされることは決してあってはなりません。「今」だけではなく、「未来」までみつめた官公民連携によるプロジェクト、それが子供の未来応援プロジェクトです。貧困の状況下にある子供に必要な支援が働くことを目指します。そして、新たに基金を創設し、単の場で活動するNPO等を積極的に支援するほか、子供たちの「生きる力」を育むための拠点を整備します。

「親と子どもたち一人ひとりのための「すくすくサポートプロジェクト」(すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト) (PDF形式: 14.5MB)

すべての子どもの安心と希望の実現に向け、政府主体として関係各庁が連携して、効果的にひとり親家庭・多子世帯等の自立支援策及び児童虐待防止対策を講じるため、「すくすくサポートプロジェクト」を策定しました。

キッズページ

夢のついで未来へ歩む子供を応援します!

国が取り組んでいる子供の貧困対策は、「すくすく未来への夢、応援プロジェクト」を進めています。「夢」を叶えるための人がもっといこうとする素晴らしい取組です。児童やこどもや親とこどもに思いやりを伝える自分の得意技を多くの人に伝える力にもなります。

あなたへの応援メッセージ

子供貧困対策とは?

夢のついで未来へ歩む子供たち

社会はみんなを応援しています

個人情報保護法 各種お問い合わせ
Copyright © 2015 Cabinet Office, Government of Japan. All Rights Reserved.

応援メッセージ

子供の未来への応援メッセージ

子供の未来を応援する方からメッセージを紹介しています。

Vol.5

内閣府特命担当大臣 (少子化対策、男女共同参画) 加藤 雅臣

子供の未来が家庭の経済事情などに左右されず、未来を切り拓いていけるよう適切な対策を講ずるために、貧困を乗り越え成長が望めます。この取組を通じて子供たちの未来を拓いていけるように努めます。

Vol.6

埼玉西武ライオンズ 秋山 翔吾さん

子供時代に比べて、忙しい毎日を送る中で、子供の成長の機会を減らすことになってしまったり、育ったときに、自分が子供を育ててくれた、という感謝の気持ちを持って育ってほしい。

Vol.3

Vol.4

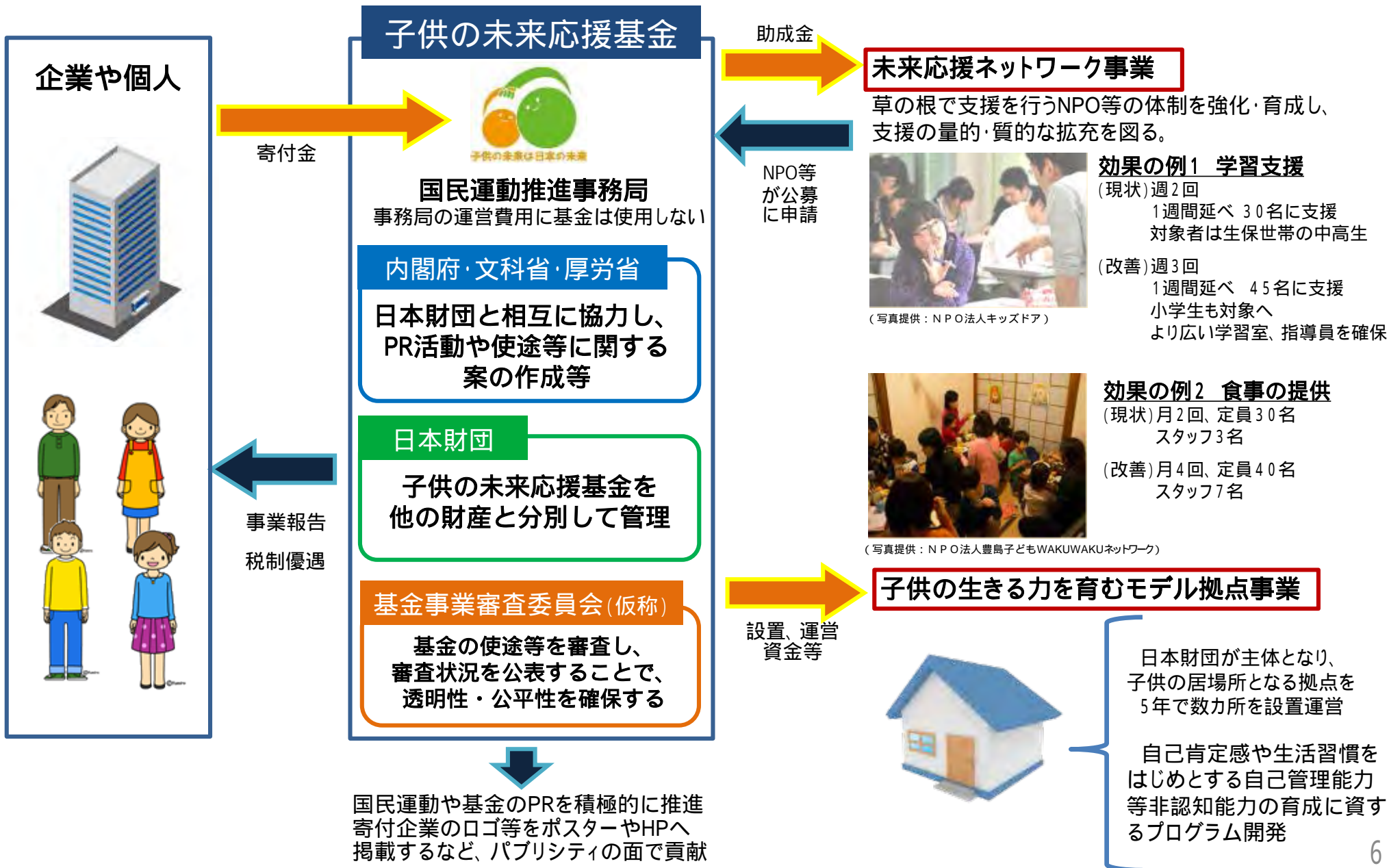
視聴はこちら

視聴はこちら

子供の未来応援基金

子供の未来応援基金

- 事業概要とお金の流れ -



貧困の状況にある子供等に寄り添って草の根で支援を行っているNPO等に対して支援を行い、社会全体で子供の貧困対策を進める環境を整備する。

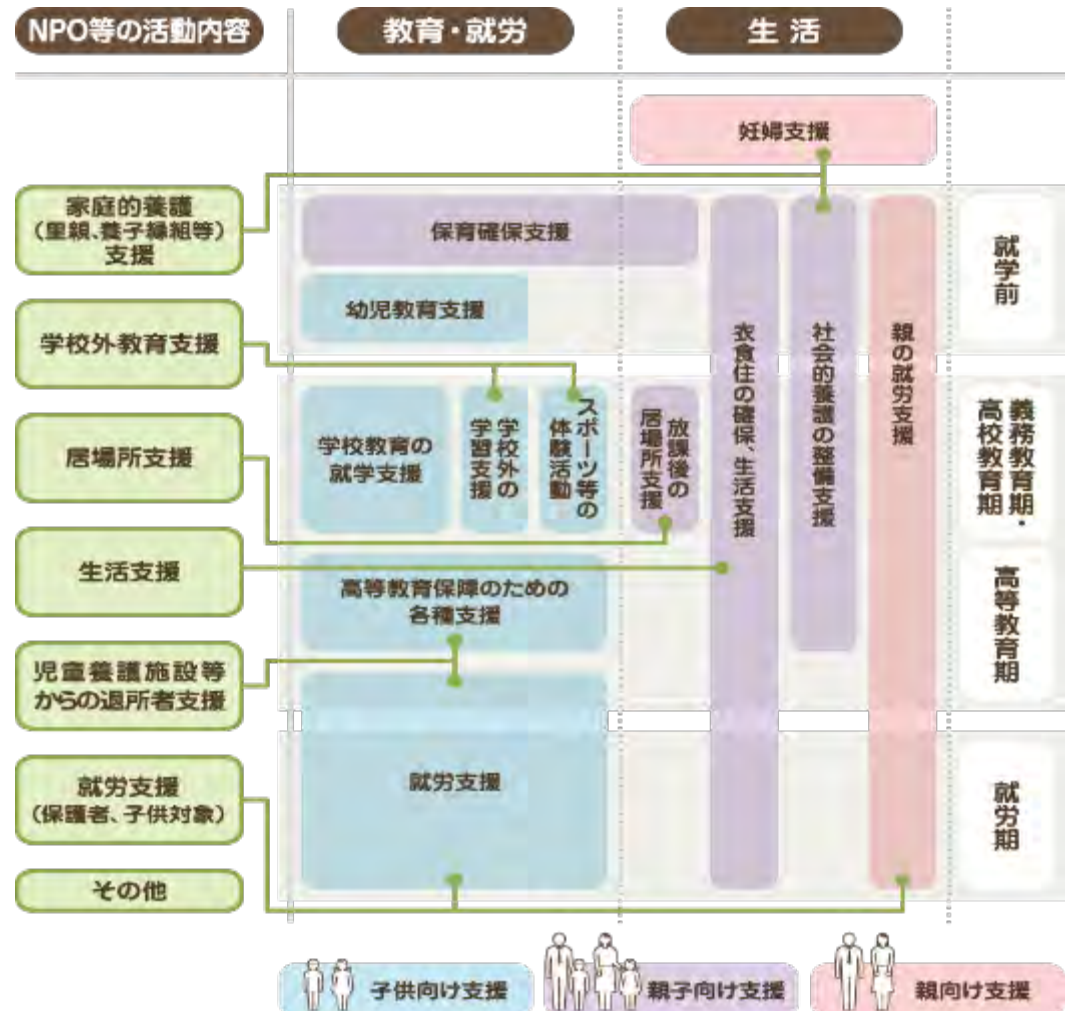
子供の未来応援基金



貧困家庭の子供等を支援しているNPO等



金銭を直接交付・貸与する活動は支援対象外



NPO等による支援

地域単位で活動する団体が多く、当事者にとって身近であるため、当事者の状況を把握しやすい。一人ひとりの状況に基づき、制度等の枠を越えて弾力的にニーズに沿った支援や活動がしやすい。



貧困家庭の子供等を支援しているNPO等

地域によっては子供の貧困対策に注力し、全国的な注目を浴びている民間団体もあるが、零細運営が多い。

職員等は平均10名(0~4名の団体が約55%)

年間収入1千万円未満の団体が約44%、寄付収入が頼り。

(内閣府 子供の貧困対策に取り組む支援団体の活動事例に関する調査研究結果報告書より)



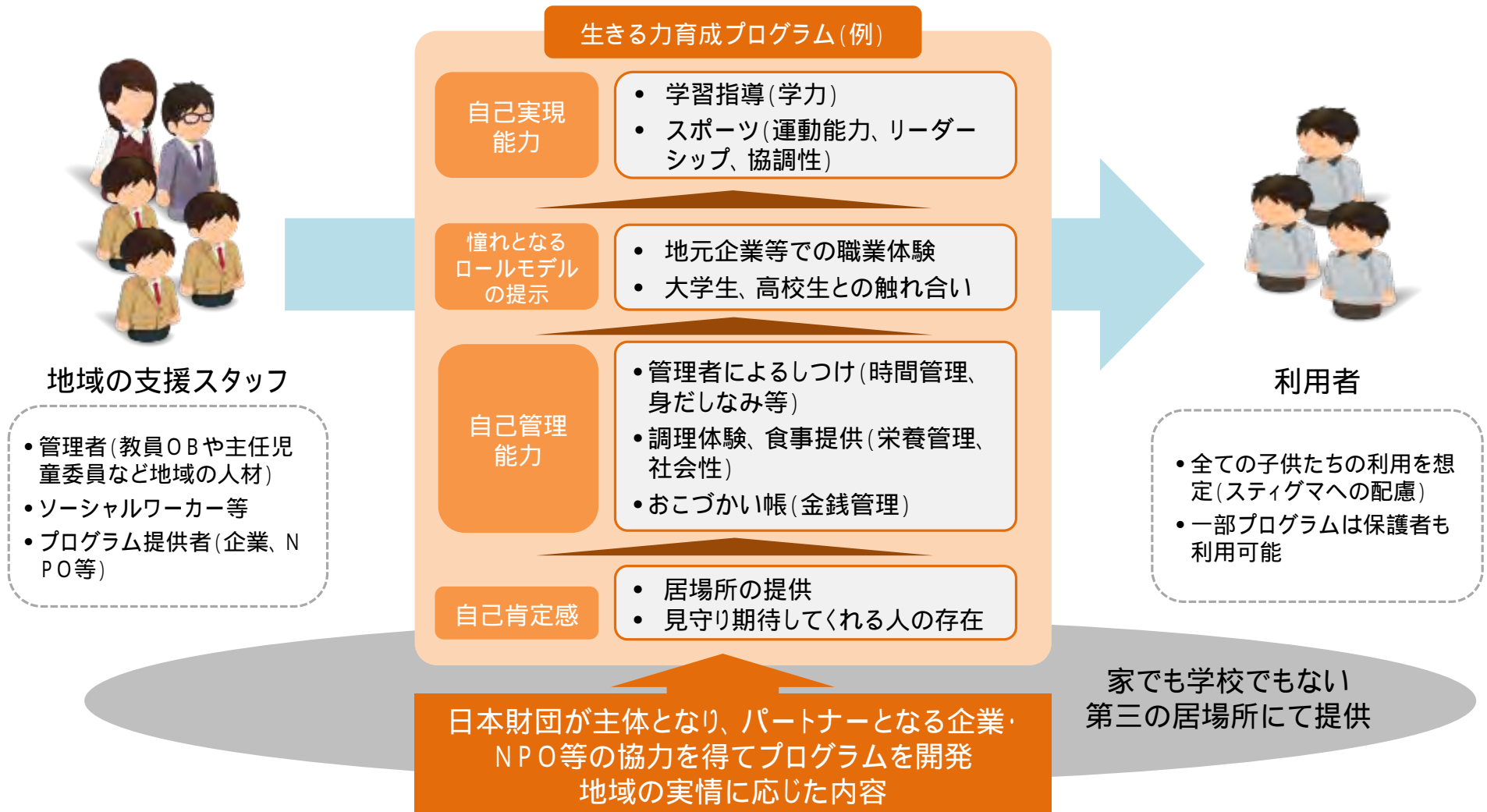
個別のNPOが寄付を募る例もあるが、収入として安定していない。また、NPO同士での支援に関するノウハウの共有、横展開が不十分。

- ➡ 支援を行うNPO等の多くは運営基盤がせいぜい弱で、行政や民間企業等との連携や支援を求めている。
- ➡ よって、民間資金による基金を通じてNPO等を支援し、行政と相互補完的に支援を行うことが効果的。

子供の未来応援基金

- 子供の生きる力を育むモデル拠点事業 -

子供の生きる力を育むモデル拠点事業では、子供たちの居場所となる拠点を整備し、「生きる力」を育むプログラムを、地域の支援スタッフが子供たちに提供する。



子供の未来応援基金

- 管理運営体制 -

寄付金は、日本財団に置く基金として管理。公募方法、選考基準については、国民運動推進事務局で決定。さらに、事務局に「基金事業審査委員会（仮称）」を置き、基金運営の透明性・公平性を確保する。

国民運動推進事務局

【構成】 内閣府、文科省、厚労省、日本財団
(業務によって他の主体が加わる可能性あり)

【主な任務】

基金を含む国民運動事業全体の企画立案及び推進
基金を含む国民運動事業全体の広報の企画及び実施
支援情報の一元的な集約・提供(ポータルサイトの運営等)
支援活動とニーズのマッチング事業(マッチングサイトの運営等)
未来応援ネットワーク事業における公募の実施
未来応援ネットワーク事業における支援先及び支援内容の選考
基準等の作成

基金事業審査委員会(仮称)

主に次の事項を審査する。
未来応援ネットワーク事業による支援先及び支援内容等
子供の生きる力を育むモデル拠点事業における拠点の設置先

日本財団

子供の未来応援基金

未来応援ネットワーク事業

NPO等が草の根で実施している子供の貧困対策事業に対し、新規事業立ち上げ・基盤強化を目的として資金提供を実施

子供の生きる力を育む モデル拠点事業

行政や支援団体単独では実施困難な施策を、民間の資金・ノウハウを活用し、日本財団が主体となって実施